

其他ハ終ニ六月八日附西多室等ヲ主觀ス

(六四廿二)

職工側ハ廿二日午後四時より予定通り木津川夙運河ニ集合シ之ヲ解決願未
ヲ報告シタルニ來會者五百名、軍衣、軍行委員クラン上野一平太郎君千テ日野
國明ノ調停ニ入リタル尙ほ、經過ニ就キ詳細ナル説明ヲ乞ン満開相手ヲ以テ
之ヲ迎ヘ一同興議ナシ承認シ次ニニ三有志職工ミリ本件ニ關シ終始一貫
結束シ翌早因ニシ奮闘セラレタル結果斯ル勝利ヲ獲タリトノ感謝、挨拶
ヲナシ翁單ノカニシテ散会セリ

高一方事業主並ニ謝停者ニ於子ハ解消条件、実施方法等付物議ヲ進メ
左記人貞ヲ解雇トスハキ旨特定シ午後十時退調停者ヨリ而モ務所ニ通セリ
本工場 造船機 三八
木工場 造船機 三七
車輛 四

合計
六八七
六三五
六〇

職工側ハ慰勞ノ目的致シ于廿三日午前十時頃ヨリ天王寺公園グラウンドニ於テ
運動会ヲ催シ文部省參集者約一千名(大坂機械労働組合員、及相次造船所職工
等限入)ニシテ「アラソン」競争等ヲ営シ午后一時退散セリ

事業主ハ木元の朝工場改三九、掲示ノ爲シ公見午后二時半ヨリ合併監視を依圖

職工ニ対し手をノ松生ヲ厚シタリ

分工場 一一二名 金額一万九千二百三円九十四美

分工場 三五九名

金額三万三百七十三円四十六美

摘要

退職手当ヲ受取テ方ハ三十三瓦午後二時カラ本工場ニ於テ御渡シ

①